



酒を醸す杜氏と蔵人、6人ですべての工程をこなす。平均年齢30代、若者が中心のチームだ。



1



2



5



4



3



## 「蔵王」の酒質が上がっている

ここ数年、蔵王酒造の酒が変わったと評価されている。これまでの熟成感のある味わい深い酒から、フレッシュできれいな酒が多くなっているという。

「造りと同様に、搾ったあとの管理をしっかりすることを心掛けています」酒質が変わった大きな理由を、大滝さんはこう話す。

日本酒造りは、酒米を麴と酵母により発酵させる高度な醸造技術だ。酒造りの最高責任者である杜氏は、香りや味わいを設計して酒を醸すが、適切な管理をしなければ、飲み手に届くまでに品質は劣化してしまう。管理の重要性は、先代の杜氏からの教えだ。かつての「蔵王」は、それが不十分だったという。

「酒を搾ってから火入れ（殺菌処理）を早くして、適切に冷蔵管理するようにフレッシュになるんです」管理次第で味は大きく変わる。宮城県知事賞に輝いた「蔵王特別純米酒K」は、原料や造りを従来ものからほとんど変えずに醸したものだ。大滝さんは工程の一つ一つを見直し、管理を徹底し、酒質の向上を目指している。

1\_原料となる酒米。余分な糠やタンパク質を削ることで、雑味の要因を取り除く。どれだけ削ったかを精米歩合で表記する 2\_米に水を吸わせる「浸漬」。酒米の種類や削り具合によって吸水時間が変わるため、綿密な時間管理が必要となる 3\_蒸し米を広げて熱を放冷する。米の状態を把握するため、素手で温度を感じながら調整する 4\_蒸し米に麹菌を振りかけて米麴をつくる。麹菌は米のデンプンを糖に変え、酒の味に直結する重要な菌だ 5\_タンクに水と蒸し米、麴、酵母を培養した「酒母」を入れ混ぜる。酵母は糖をアルコールに変える。麴と酵母による二つの発酵を並行して行うのが、日本酒造りの特徴だ

## 飲み手の声を聞く

量販店での販売が主軸の蔵王酒造で、限定販売は新しい取り組みの一つだった。

日本酒の多くは、適切に冷蔵管理しなければ熟成し劣化が進む。量販店では飲みごろの管理が難しい酒も、知識と設備を持つ特約店では最適な状態で提供できる。多くの日本酒愛好者が訪れ、また飲食店に限定品を卸すことも多い。自然と酒に関する声が集まるのも、特約店の強みだ。

「評判や意見を直接聞けるのが大きいですね」仲卸業者を介した量販店では、飲み手からの声は得がたい。自分たちが醸す酒が、飲



み手にどう評価されているのか。多くの声に触れることで、自分の感覚との違いも感じられると大滝さんはいう。

「いまいちと思つた酒が意外と評判がよかつたり、その逆もあつたり面白いです。いろいろな方の意見を聞くようにしています」幅広い意見が、新しい酒造りへ反映される。

酒販店や飲食店などが主催するイベントにも、積極的に参加するようになった。銘柄を集めた利き酒会や、料理と日本酒との相性を楽しむ会など、内容はさまざま。各地で催されるイベントに、可能な限り足を運んでいるという。以前は無名に近かつた蔵王酒造の酒も、品評会での受賞以降、興味を持つってくれる人が増えたそう。県内の酒販店や飲食店でも、新しい酒を取り扱う店舗が増えていく。蔵王酒造の取り組みと姿勢に、地元でも多くの店舗が賛同し応援している。

## 若者たちが、声を上げた

大滝さんの酒造りには原点がある。杜氏になる以前、同僚の若手社員らと造り上げた酒「ZAO Inspiration」だ。

「今までの蔵王にはない、フレッシュな酒をつくりたいと思ったんです」先代の杜氏のもとで酒造りを学ぶなか、自分たちが思い描く酒を造りたいと会社に直訴したという。蔵王酒造の新しい試金石となる挑戦だった。

原料に宮城県の酒米と酵母を使ったオール宮城ブランド。香りと酸味は控えめにし、米のうま味を感じつつも飲み飽きない、食事にも寄り添える味を目指した。

「新しい酒でも、見た目が同じだと違いが伝わりにくい。これまでのイメージを一新するよう、新しい形をつくりました」ラベルには「蔵王」の文字はなく、ローマ字での表記。黒をベ

スに透明感のある色合いは、酒質をイメージできるようにと同僚社員がデザインした。

造り上げた酒は県内の酒販店や日本酒愛好者の目にとまり、従来の味わいとギャップから強いインパクトを生んだ。これから蔵王酒造が変わることを予感させる逸品に、多くの反響があつたという。

「新しい蔵王をつくる」若手社員たちの決意表明となる一本は、多くの人に受け入れられた。

大滝さんが杜氏になってからは、通年で出せる新しい「蔵王K」シリーズを手掛けている。Kは「心」の頭文字をとつたもの。ラベルは従来のもので採用し、小さく「ココロ」と丸文字を入れた。手間を惜しまず、心を込めて醸し管理している新しい酒は、すべて特約店での限定販売とした。

